



第11回 新潟仏壇工芸展

伝統技術の粋を集めた企画展 ～伝統仏壇から新作小物まで～

2022年10/15(土)～11/6(日)

9:30～17:00 (10/17(月)・24(月)・31(月)、11/4(金)は休館)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用と備え付けのアルコール消毒液の利用をお願いします。



新潟県大仏壇工芸協会の登録団体
認定番号 R3-191



PHOTO 中村 裕

会場 旧小澤家住宅

新潟市中央区上大川前通 12-2733

Tel. 025-222-0300

観覧料 一般 200円 小学生・中学生 100円

※ 観覧券の販売は16:30終了

※ 11/3 文化の日は観覧料無料

※ 土日祝日は小中学生無料

主催 新潟仏壇組合・旧小澤家住宅 共催 新潟市



実演

10/30(日)・11/3(木祝)

伝統工芸士による蒔絵実演

同時開催

「越後生紙展」

主催：越後生紙振興会 同会場

10/15(土)～11/6(日)

お問い合わせ：事務局 小国和紙生産組合(担当：今井)

Tel. 0258-41-9770 e-mail info@oguniwashi.com



新潟仏壇組合

お問い合わせ



新潟仏壇組合

展示

伝統的工芸品 新潟・白根仏壇

「未来へつなぐ伝統の技」

新潟仏壇組合 五職の匠による本格的な正統仏壇や現代仏壇、高度な伝統技術を駆使した愛らしい小物など、新潟仏壇技術の粋が一堂に会します。



新潟仏壇 挑戦の歩み

新潟仏壇組合が力をあわせて挑んできた、これまでの取組をご紹介します。その時代ごとの新しい発想と感性で作りに上げてきた、意欲作の数々です。

製作体験



10/16(日)・23(日)
金具打ちによる
ネームプレート作り

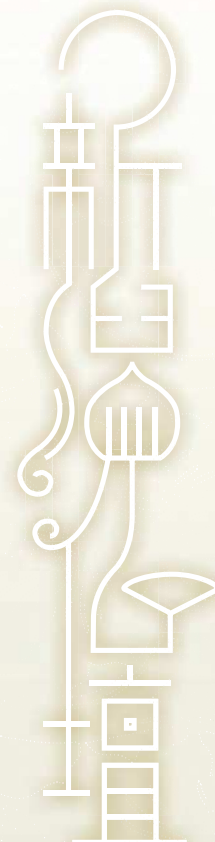
11/3(木祝)
蒔絵による
ネームプレート作り



午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:00～16:00

30分くらいで仕上がります。製作物はお持ち帰りできます。
費用：金具、蒔絵共に500円 参加費あり
※体験会場では、検温とお名前、ご住所等の記載にご協力ください。

※開催情報は会場の旧小澤家住宅のホームページをご確認ください。



新潟仏壇組合事務局 新潟市江南区酒屋町 547-3

TEL 025-280-2236 Email: haga-fba@ec2.technowave.ne.jp

新潟仏壇 五職の匠

三百年以上の歴史を持つ新潟仏壇は、永い年月に育まれた独自の技術・技法と、品質の良さが生み出す「手づくり仏壇」として、経済産業大臣による国の伝統的工芸品産地の指定を受け、その高度な技術と荘厳優美な品格が高い評価を得ています。京仏壇の流れをくみ、当産地ならではの飾り金具や蒔絵を多用したお仏壇は、確かな品質と際立つ華やかさを兼ね備えています。五職と呼ばれる職人たちの、技の調和が造りあげる新潟仏壇には、手づくりのぬくもりが溢れ、長い間人々に愛され続けています。



伝統的工芸品 新潟・白根仏壇 三十代 三方開き

※昭和15年指定当時は通商産業大臣指定品名は、新潟・白根仏壇



羽
羽賀佛壇店

東区山木戸 6-11-6
TEL 025-273-1791

お届けするのは重ねてきた、伝統技術と優美な加飾。



渡
渡辺蒔絵店

江南区大淵 1119
TEL 025-277-0424

目利きの通をも唸らせる新潟蒔絵の水準の高さ。



木地材料は
桧、櫟、
五葉松など



彫刻図柄は花、
鳥(孔雀牡丹、桐鳳凰)、
龍、天人、人物など

林
林佛壇店



中央区本間町 2-2656
TEL 025-223-1377

伝統の匠の技と探究心、
新時代の閃きが融合する。

小
小川屋仏壇店



中央区東堀通 8-1410
TEL 025-222-6383

技の極意を知る故の、
良品揃える審美眼。

友
友坂佛壇店



江南区酒屋町 547-3
TEL 025-280-2236

漆一筋、精巧な塗り技が
技術継承と発展を導く。

秋葉区



蒔絵は金蒔絵、
盛り蒔絵、平蒔絵、
筋蒔絵など

高
高木蒔絵店



中央区西堀通 9-1615
TEL 025-228-9538

真摯に伝える珠玉の技は、
一つの文字にも表れる。

田
田中金具店



中央区本町通 5-236
TEL 025-223-0480

ひと打ちにこもる卓越の技、
精細な金具は熟練の極み。

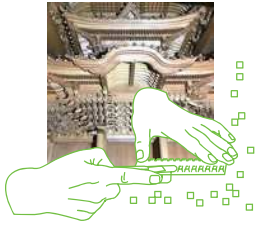
西蒲区

南区

新潟の街に静かに続く伝統、
仏壇製作は地域密着の新潟仏壇組合加盟店へ

木地師

良質の天然木を用い、ほとんど釘を使わない組み立て方式。仏壇の土台となる原型を細部まで造ります。



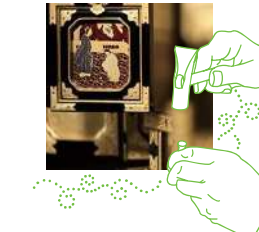
彫師

平彫り、丸彫り、立体感を出す重ね彫り等、何種類もの彫刻刀を駆使して仏壇内部の図柄を彫り出します。



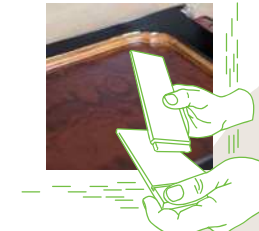
金具師

銅や真鍮にタガネで丹念に打ち出します。飾り金具の多さと魚々子紋様が新潟仏壇の特徴です。



塗師

下地を塗り、何度も繰り返し漆を塗り仕上げた後、金箔を一枚ずつ貼っていきます。その後組み立ても行います。



蒔絵師

漆を使い様々な絵模様を描き、金粉等で着色します。美しい蒔絵を多く使っているのも新潟仏壇の特徴です。

